

## 第8回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1. 佐久間課長へ。前任者のような強弁、詭弁、はぐらかして東京都の方針を押しつけるのではなく住民の真剣な声をすなおに受け止め、フェアなとりまとめを行うよう切望します。</li> <li>● 2. 東京都は外環2による防災対策を強調しているが東京西部に巨費を投じて巨大新道路をつくるのは緊急度、費用/効果の面から見て明らかにマチガイ。老朽橋、高架高速道、防潮堤、液状化対策などなど、東京東部を中心にいくらカネを投じても足りない施策が山積していることが明らかになっている頭を冷やして行政の正道を取り戻してほしい。</li> <li>● 3. 国交省は地下化して立退き件数を3000軒から1000軒に減らしたと明言している。地上道路を認めていない。国交省は自分の発言に責任を持つ。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回、初めて話し合いの会に参加しました。地上に道路を造るとか、造らないという話をするのかと思っていたら、話し合いのための話し合いをしておどろいた。</li> <li>● 話し合いの途中で、恐らく杉並区、国交省又は東京都の構成員のだけれど、この場は、何かを決める場ではなく、意見、考えの違う方達が、忌憚なく意見を述べる場だと言ったのはその通りだと思う。</li> <li>● 津森構成員が意見をまとめて、レジュメにしてきてくれて大変助かった。その場、その場の思い付きで発言しても話が進まなくなるだけ。どんな意見でもかまわないので、自らの考えをしっかりとまとめて、その考えを基に、それに対して話しをできるようにすればよいと思う。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画の必要性が理解できない。昭和47年当時の計画ex未だに生きていること自体が不思議。社会、人口、地域の変化が大きく変化している。必要性を明確にして欲しい。単に「計画がある」だけでは納得できない。</li> <li>● 都の説明・回答について「…したいと考えています」でなく、「します」と明確な回答をして欲しい。</li> <li>● 構成員の途中退席は残念。どんな覚悟で構成員になられたのか。</li> <li>● 効果的な進行を望む。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成員の欠席が多すぎます。</li> <li>● 欠席の場合は代理を出すべきです。</li> <li>● 司会の方はこれからも中村さんが続けるのですか、交代するのがよいと思います。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話し合いは良かったと感じた。</li> <li>● 担当の方は、あくまで、事務的、もっと身をもって次回はお出席ください。又お答え下さい。</li> <li>● 杉並は泣き寝入りしたくない。</li> <li>● 子供、孫のため環境を残したい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度失ったら二度とこの自然は手に入らない。</li> <li>湖水、池の水が断たれると心配する。</li> <li>住民に、きちっとした答えは、出されているのでしょうか？</li> <li>いつも中途半端な答え、データは正しい本物を提出してほしい。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会者が何度も指摘されているように、今回も議事進行の役目をはたしていない。単に意見をきくだけでなく、それをどう解答にみちびいていくのかわかっていない。</li> <li>資料1において司会者がのべていることがはたされていない。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記の内容は東京都が主体的に国、練馬区等と調整してほしい。また練馬区での話し合いの会も H23 年以降行われていないため、行ってほしい。</li> <li>地上部街路や外環インターチェンジの建設のために、東京都や区、国は、国土交通省の共同住宅や福利施設の整備補助事業を用いて、支障物件対象者向けの共同住宅や福利施設を用意して、移転対象者が住宅の心配をしなくてもよいようにしてほしい。</li> <li>青梅街道インターチェンジは杉並区が反対しているが、練馬区はフル方式での設置を強く要望しているため、下図の案1、2のように練馬区の用地のみで、フル規格でのインターチェンジをつくってほしい。</li> <li>青梅街道インターチェンジを練馬区の用地のみで杉並区の用地を使用しないでフル方式で設置する方法。案1は千川通りと青梅街道の間のインターチェンジ区間の拡幅が必要。案2は外環本線と千川通りへ交差点から北方面に半地下方式で建設する。</li> <li>上記の案1、案2とも、青梅街道インターチェンジの料金所は関町1丁目の交差点から、料金所に入る。案1、案2とも千川通りの拡幅が必要。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて参加しましたが、7回もつみ重ねた話し合いの会とは思えないほど、手際の悪さがきわだって驚いた。他、気付いた点をあげる。</li> <li>1. 司会者及び、都の構成員（地域住民）質問に対しての理解能力が低すぎる。（レベルが低すぎて話し合いになっていない）</li> <li>2. 答え（都）の明確さがまったくないため、構成員（地域住民）がいちいち説明する、しなければならないという時間の無駄は話し合いの会の意を成していない。</li> <li>3. 司会者、担当者（都）を変更するべき</li> <li>4. 杉並区構成員の意見がまったくないのはどういうことか？</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>もたもたした進行にはあきれ果てた。お役人とは何と能力のない人達だろうと思った。正直に答えないのが諸悪の根源だ。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>大泉1kmの認可について:国は何故認可したのか国交省の大畑課長は質問されたことに正確に答える義務があるのに答えにもなっていない答えでごまかそうとすることは増々住民からの不信感をあおるだけです。国を代表して来ている以上きちんと答えるべきですが部署が違うと言うのであれば担当</li> </ul>

	<p>者を連れてくるなり、きちんと担当者にきいて回答するなりすべきです。</p>
1 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この会はまともじゃない。まるっきり反対のための会ではないか。人それぞれ自分の考えがある。賛成も反対も。ある一方の意見ばかり出て、さらに同じような意見、質問、あるいは揚げ足をとる質問、こうならないようにするのが都の役割ではないか。</li> <li>● このままでは外環の2がどうなるのかを本気で考えている、違った意見を持っている人が発言できなくなる。外環の2をやるのかどうかを聞きに来たのにこのような会では傍聴に来るのがバカらしくなる。税金の無駄使いである。</li> <li>● 議事録のことや同じことの話ばかりならば、もう話し合いの会を終らせて外環の2をやるのかやらないのか、どちらか早く決めてほしい。</li> <li>● 構成員が出席しなくなることを都はよく考えるべきだ。傍聴者のヤジがひどくて発言できない構成員がいるではないか。司会者、都、しっかりしてほしい。</li> </ul>
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話し合いの中身以前のことには時間を費やしているのは、時間の無駄である。</li> <li>● 指名した人のみが発言するというのを、構成員たちも受け入れたのであるから、それに従って進行すべきであり、司会者は、不規則発言を排すべきである。しかし、司会者が、その仕切りに不適任であるようだから、交替を考えるように求める。もしくは、司会者は、議長的立場を、ひるむことなく務めて下さい。以上</li> </ul>
1 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 8回の話し合いの会には、ほとんど参加し、傍聴してきました。毎回議事進行に大きく時間がとられ、「外環地上部街路必要性」についての議論が深まらずもどかしい思いでした。今回各構成員から意見が出されるということで期待していましたが、やはり時間切れで非常に残念です。前回の須藤構成員、今回の津森構成員の意見は、文書を伴っていたので、わかりやすく、納得できるものでした。地域住民にとっては、生涯に関わる重大事項です。国や都が本気で、この計画を進めようというのなら、住民の声に耳を傾け、ていねいな説明が求められます。これまで出された質問事項を国、都側は整理し、そのひとつひとつに文書で回答するべきと思います。都、国側と住民側の違いが明確になり、議論が深まると考えます。</li> </ul>
1 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 座席表について：毎回傍聴していますが、発言者の名前と所属（役所、町会など）がわからずとても不便ですので、ぜひ配布して下さい。壁に張り出すなら遠くからでもよく見える大きなものを正面にはってください。また出欠も明らかにして下さい。</li> <li>● 事務局の扱い：今回より「事務局の立場で」と発言されるようになりましたが、全体の意見と異なることを勝手に進めていく態度は変わらず、これでは意味がありません。</li> <li>● 安西氏の謝罪を求めます：前回傍聴していましたが、安西さんの態度は住民</li> </ul>

	<p>と「話し合いの会」を侮辱するもので、憤りを覚えました。今回佐久間さんが謝罪らしき言葉を述べましたが、安西さんご本人は謝っていません。あんな発言がまかり通る様では、会は成立しません。安西さんは前回の発言を公に謝罪し、前回の12分の発言は議事録からの削除を自ら申し出るべきです。次回ちゃんとやってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ご意見カードについて：毎回ご意見カードを書いています、このカードは何の役に立っているのでしょうか。「ガス抜き」でしょうか。毎回多くの方が傍聴し、カードも書いているのですから、回答がほしいと思います。</li> <li>● 1人5分の意見発表：3人の方のご意見は、どの方も理路整然としていて、りっぱな発言だったと思います。「話し合いの会」の構成員意見が尊重されるのであれば、外環の2は廃止するしかないという結論だと思います。</li> <li>● 質問への回答：近藤さんがおっしゃったように、外環は用地買収が困難なために地下化したのに、わざわざその地上部の道路を認可することは矛盾した行為だと思います。国の説明ではそのことは説明できません。大畑さんはあらためて担当部署と相談して、住民にきちんと説明してほしいと思います。</li> <li>● 都・区の構成員について：毎回の質問がすれ違いしかなく、無駄な時間が費やされています。都も国も質問されていることの趣旨が分かっているのか、わかっているのに無視しているのでしょうか？同じセリフを繰り返すだけで（特に大畑さん）回答にならない発言をするのはやめていただきたいと思います。都も国も誠意をもって住民と話し合える構成員を出して下さい。（今の方では正直ムリです）。以上</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この話し合いの会が8回目を数えるというのに、いっこうに実りある話し合いになっていない。その最大の原因は、行政側の対応のまずさにあるのではないか。</li> <li>● 住民側の素朴な疑問に対して、行政側が発せられるものが、木で鼻をくくったようなそっけない態度に始終していたことにも表れている。</li> <li>● 住民側の真剣な態度と比べて、行政側の気合い不足を感じた。行政側に注文したい。もっと事前の準備をしっかりとって勉強をして、話し合いでは横綱相撲をとってほしい。逃げまわっているようではだめだ。</li> </ul>